

令和6年度林政審議会施策部会における主な意見

2024. 9. 5 第1回（白書作成方針について）

（特集のテーマについて）

- ・生物多様性は重要なテーマであり、特集で取り上げるべき。
- ・生物多様性は民間企業において非常に関心が高まっていると感じるが、林業関係者の間ではあまり浸透していないため、理解しやすいような構成にしてほしい。
- ・生物多様性は難しいテーマ。どのように林業との折り合いをつけていくのかが重要。
- ・国際的にみて、日本の森林の生物多様性がどの程度なのかという位置付けが必要。また、原始的な天然林や人工林等の区分ごとに生物多様性への貢献を整理してほしい。
- ・川下の木材利用側の人も、生物多様性について理解できるよう整理してほしい。

2024. 11. 21 第2回（構成及び主要記述事項について）

（特集について）

- ・多面的機能の発揮や生態系に配慮した施業により供給される木材を利用していくことが、非常に重要であることを一般の方にも分かりやすいように書いてほしい。
- ・「デュー・デリジェンスの実施」＝「持続可能な木材の調達」ではなく、デュー・デリジェンスは手段になるので、正確な書きぶりに改善してほしい。

（トピックスについて）

- ・「改質リグニンの社会実装に向けた今後の展開方向」について、まだ着手段階なので具体的には難しいかもしれないが、スギの賦存量や、現在の伐採量から年間どのくらい生産できるのか、製造における歩留まりはどの程度なのかについて書いてほしい。

（通常章について）

- ・労働災害の発生率について記述してほしい。
- ・木造化と併せて、オフィス等での木質化についても紹介してほしい。
- ・木材自給率について、令和5年の数字を見ると上昇しているが、その要因についての記載が少し分かりにくいのではないか。
- ・ウッドショックが起きてどのような影響があったのか振り返るような記述はできないか。